

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：17-239

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：異なる先端構造のバスキュラーアクセスカテーテルが回路寿命に与える影響

・目的：現在、持続的腎機能代替療法（CRRT）における、短期的なバスキュラーアクセスとして非カフ型カテーテルが使用されている。容易に挿入でき、使用できるまでに要する時間も短いメリットがある反面、カテーテルの屈曲や血管壁へのへばりつき現象によって発生する脱血不良等のアクセストラブルに遭遇することもしばしば経験する。その結果、脱血不良によって回路凝固による回路寿命の短縮や治療中断を余儀なくされてしまう。近年では血流量の確保のみならず、へばりつき現象の解除を目的としたサイドホールを有するカテーテルが市販されており、構造の工夫が各社でなされている。CRRTを施行する際、非カフ型カテーテルは従来から使用しているNIPRO社製のテオス（脱血孔にサイドホールを1つ有している）と、2017年4月から新規導入を行っているメディコン社製のパワートリアライシス（脱血孔と送血孔にそれぞれ4つずつサイドホールを有している）を使用している。この2種類は外径と長さは同じであるが、異なる先端構造を有している。そこで、心臓血管術後の維持透析患者や急性腎障害を発症した症例における体液管理を目的としたCRRTにおいて、異なる先端構造のカテーテルがアラーム回数や回路寿命に影響を及ぼすか、後方視的に検討したい。

・研究期間：2018年 1月 10日～ 2018年 12月 31日

・研究対象：2016年 4月 1日～ 2017年 12月 13日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：回路寿命、end point到達理由、血液浄化施行条件、患者背景、血液検査データ、アラーム回数

③ 利用する者の範囲

：MEサービス部 関口 敦

：MEサービス部 塚本 功

：MEサービス部 土屋 陽平

：血液浄化部 渡辺 裕輔

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：MEサービス部 山本 仁志